

2. 景観の現況

1 景観を構成する要素

景観を構成する要素はさまざまですが、あびこの景観を構成する要素は、自然景観、歴史・文化的景観、まちなみ景観に分類できます。

また、まちなみ景観はさらに市街地の景観と都市施設などの景観に分けられます。

(1) 自然景観

主として河川、沼、農地、樹林と農村集落地によって構成される景観。

利根川

東西をゆるやかに水が流れ、対岸に筑波山を望む雄大な自然景観を醸し出しています。

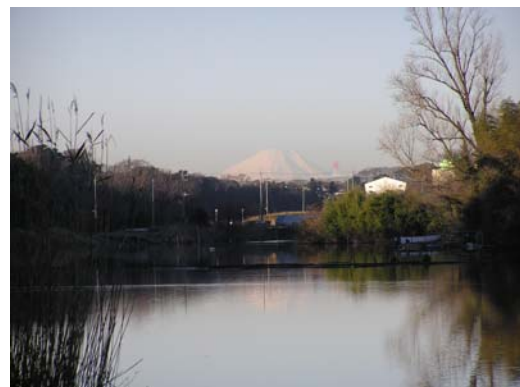


手賀沼

手賀沼沿いの遊歩道に沿う並木が湖岸をいっそう豊かな水と緑の空間としています。

古利根沼

情緒ある風土的景観を醸し出しています。また、関東の富士見百景に選定されています。





田園風景と農村集落地

田園と農村集落地と斜面林が、のどかな日本のふるさとも感じさせます。

斜面林

手賀沼の風景に魅了され、文化人が居宅や別荘を構えたまとまった緑の固まりが、視覚的に緑が豊かなイメージを与えています。



斜面林

ミニ開発により緑の連続性が失われています。

斜面林

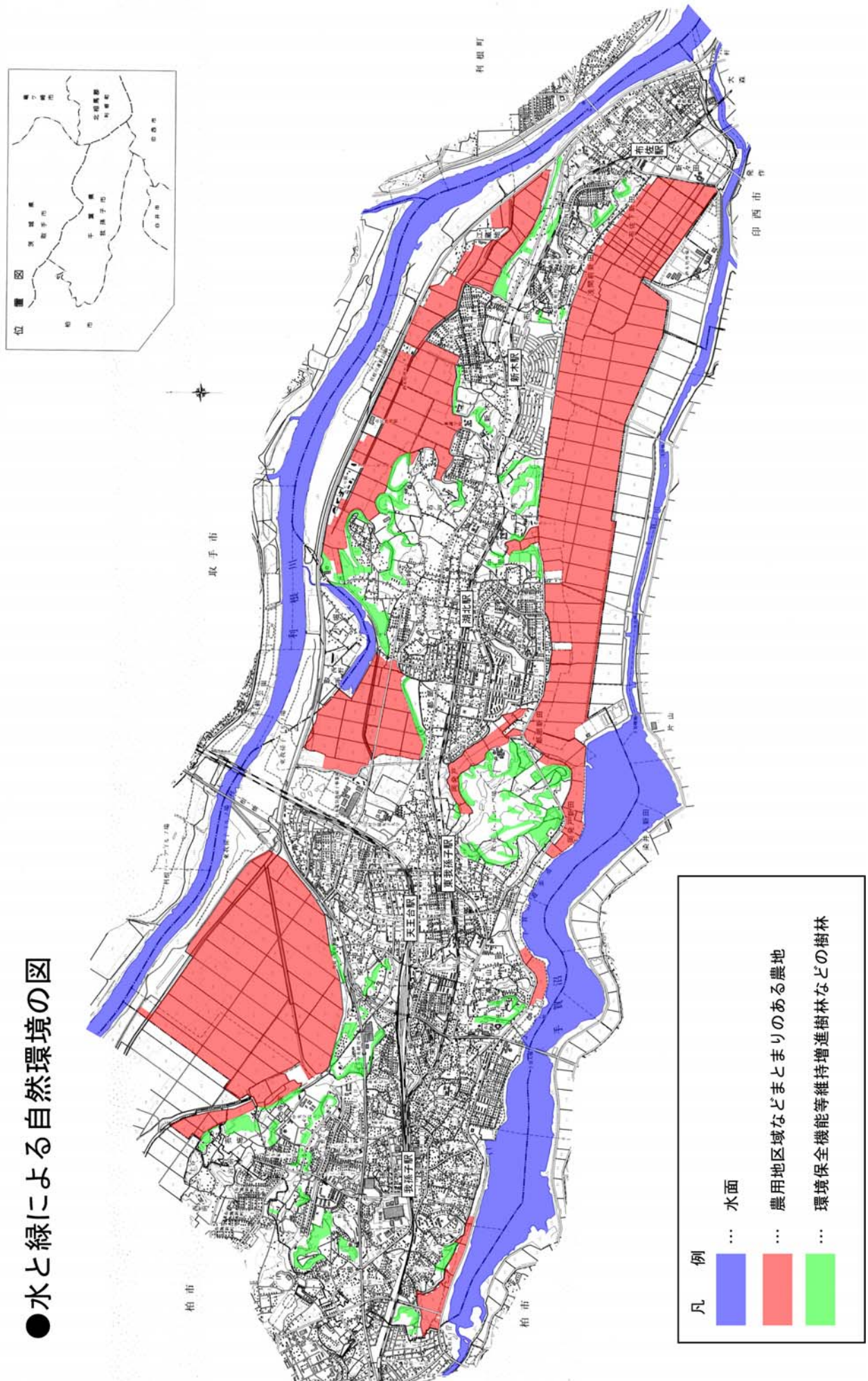
利根川からの斜面林と田園風景がなつかしさを感じさせます。



広告物

まとまった農地の沿道に田園風景をさえぎる野立て看板が見られます。

●水と緑による自然環境の図



(2) 歴史・文化的景観

社寺、遺跡・史跡、旧街道など歴史的要素による景観、あるいは文学、芸能、祭りなどにちなむ景観。

志賀直哉書斎

当時の書斎とともに説明板が設置されており、池やベンチのある落ち着いた緑地となっています。



ふきあえずじんじゃ

葺不合神社

鳥居を抜けると起伏のある おもむき 趣ある参道となっており、シンボルツリーのいちようがあります。

東源寺

県の天然記念物に指定されている樹齢200年を経た大きな かや 榎の木があり、歴史の古さを物語っています。





成田街道沿いの屋敷林

昔ながらの屋敷林や古木が多く残されています。また、鉄道路線側から見た場合に豊かな緑の景観をつくっています。

祭り・行事

移りゆく季節に応じて様々な祭りや行事が催され、地域の人々に親しまれています。



あやめまつり 6月上旬～中旬

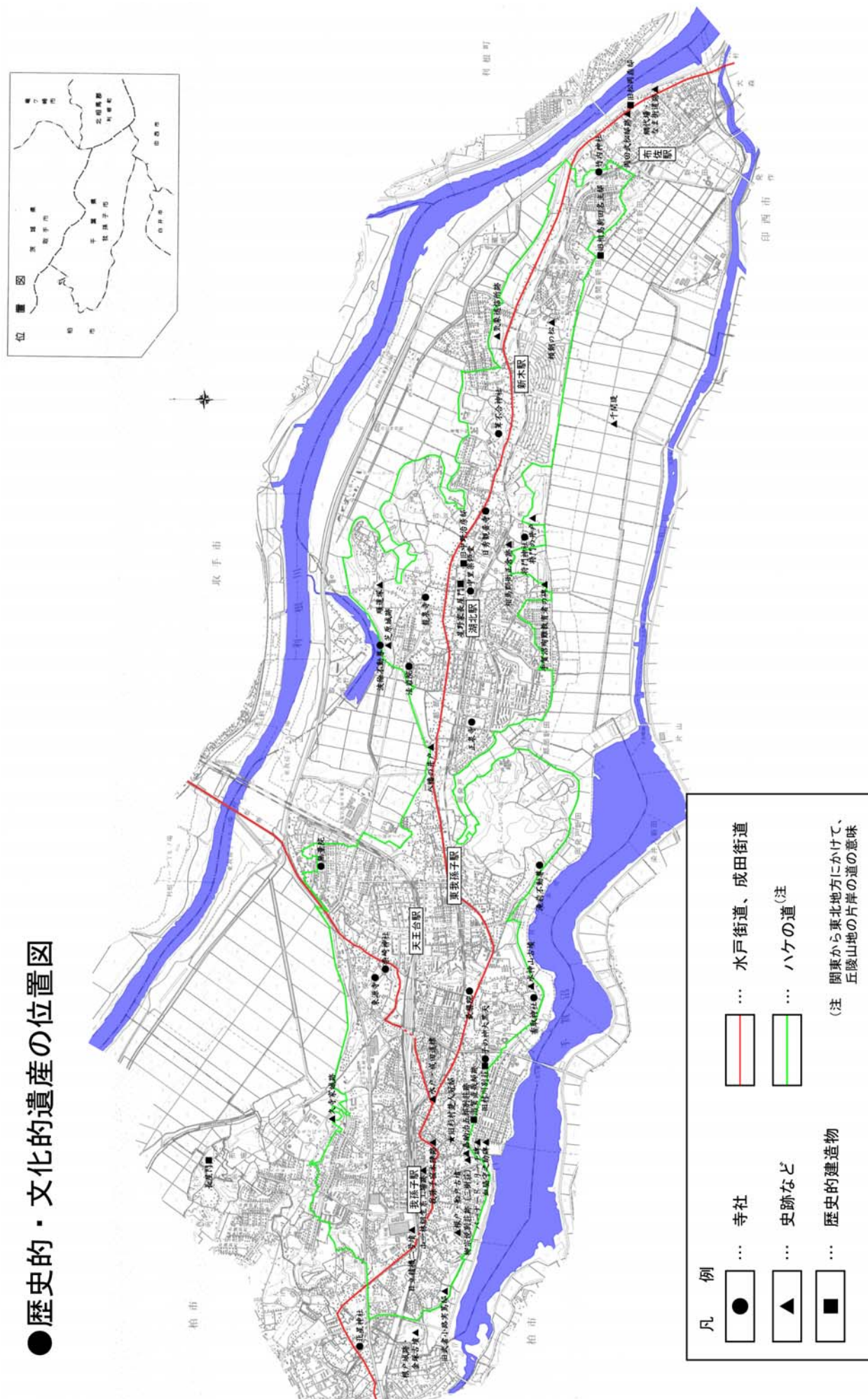


手賀沼花火大会 8月上旬



竹内神社の祭礼 9月上旬

● 歴史的・文化的遺産の位置図



(3) 市街地の景観

まちなみ景観のうち、主として建築物群によって構成される住宅地、商業地、工業地あるいは集落地などにおける景観。

< 住宅地 >

つくし野

緑豊かなまとまりのある住宅地が形成されています。



アビコビレジ

中高層の共同住宅と手入れの行き届いた緑化スペースによる景観が形成されています。

我孫子駅北側

高層の共同住宅が我孫子駅周辺に多く見られます。



白山

起伏のある地形により住宅地の中から手賀沼の湖面が望めます。しかし、電柱が景観を損ねています。

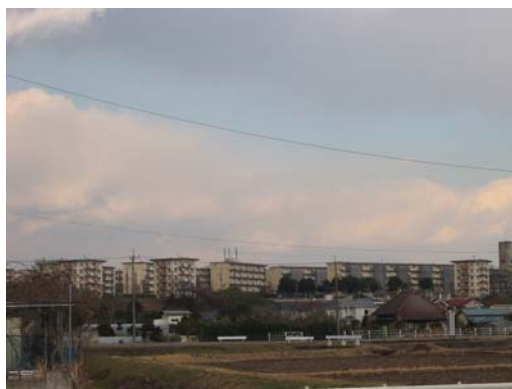


高野山

道路が狭く入り組んでいるため
安全性の向上が望めます。
一方で、農地などが多く身近に
農を感じられます。

湖北台団地

スカイラインが統一されています。



中里

時の積み重ねによる おもひき 趣のある
家並みが見られます。

新木

屋敷林や高垣などで昔の集落地
景観を残した落ち着いた地区が
あります。



新木野

遠景において緑やゆとりが
少ない印象を与えています。

布佐平和台

連続した生垣が緑豊かな住宅地をつくっています。



布佐下

昔ながらの面影を残す家並みがあります。



浅間前

昔ながらの集落地風景が人になじみやすくなっています。

< 商業地及び駅前 >



我孫子駅南口

市の玄関口として、手賀沼・鳥・文化人をイメージして整備された駅前広場です。

我孫子駅北口

駅前広場が整備され、賑わいが生まれつつあります。
一方、広告物の誘導が重要になってきます。



天王台駅北口

バス停及びガードパイプ等がデザインの的にまとまっています。

湖北台の商業地

商店の歩道へのはみ出しや路上駐車が多く、店舗などの魅力が見えにくくなっています。



湖北駅北口

駐輪場の景観に対する配慮がほしいところです。駅前広場の整備により景観形成を図ります。

新木駅南口

駅前広場などが整備され、地域の商業機能の拠点にふさわしい調和のとれた賑わいのある商業地が生まれつつあります。



布佐駅南口

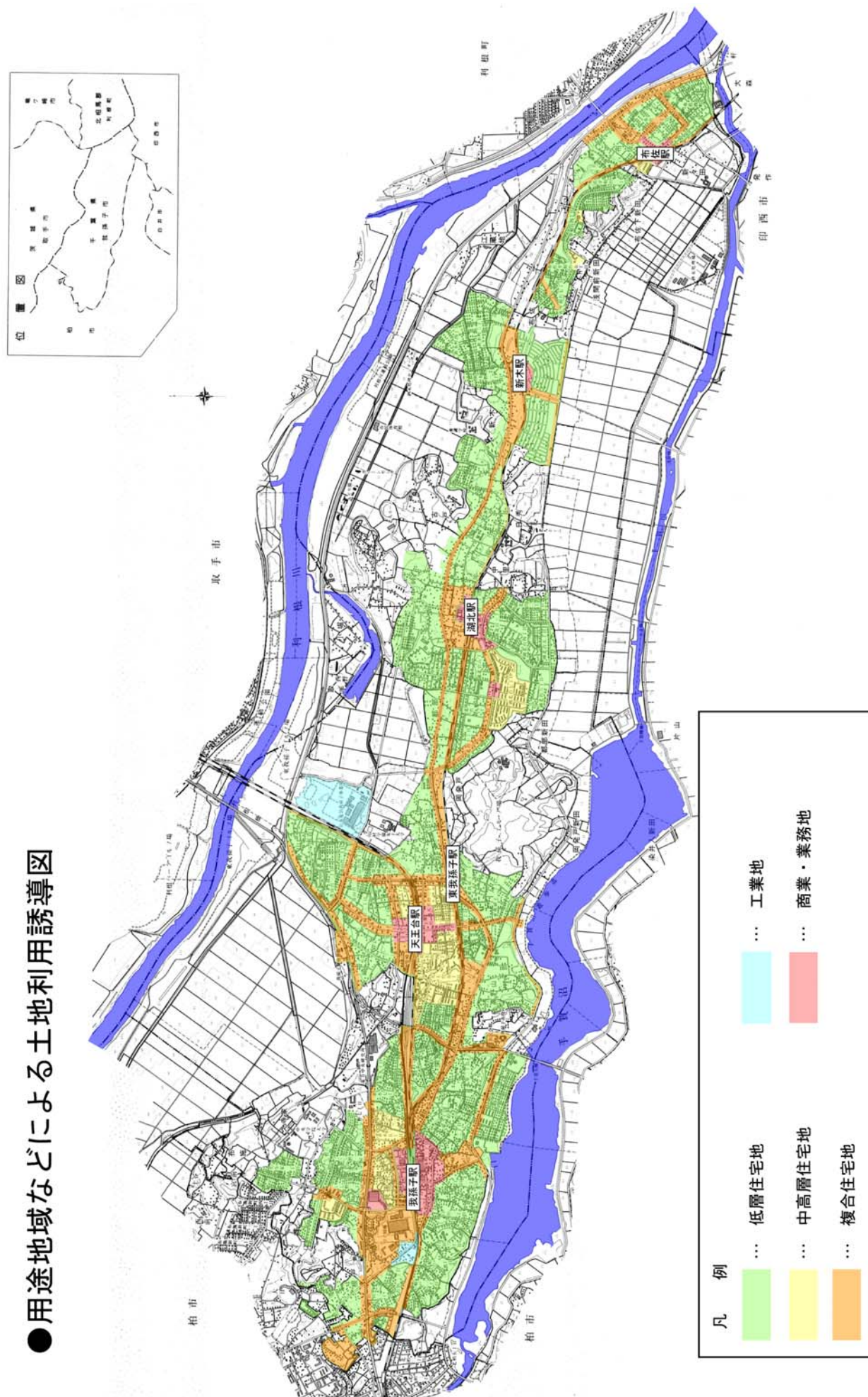
まちの顔となるモダンな駅舎です。



日本電気我孫子事業場

敷地内の緑のボリュームが大きく、景観上高く評価されています。

●用途地域などによる土地利用誘導図



(4) 都市施設などの景観

まちなみ景観のうち、道路、公園などの都市基盤施設、あるいは学校や研究所などの教育研究施設、官公庁などの公共施設などによって構成される景観。

< 公園 >

手賀沼公園

ポプラ並木からメタセコイアにシンボルツリーが代わりました。

**湖北台中央公園**

緑豊かな公園が市民に親しまれています。

緑南作緑地（楚人冠公園）

小高い丘であり、クロマツ越しに手賀沼が望める数少ない眺望点です。

**利根川ゆうゆう公園**

利根川の河川敷をオープンスペースとして活用しています。



宮ノ森公園

竹内神社や布佐小学校から自由な行き来が可能となっています。

根戸船戸緑地

中拠点サインが設置されています。
景観に調和した公共サインの統一を図ります。



手づくり公園

市民の手により公園がつけられています。

公園予定地

市が所有する手賀沼斜面林を
市民と協働で維持管理しています。



古利根公園自然観察の森

みどりのボランティアの協力により、豊かな自然生態系を目指した森づくりが行われています。

< 道路 >

国道356号の沿道景観

水戸街道と成田街道の分岐点にあたる道標が残されています。一方、上空の電線が目につきます。



国道356号の沿道景観

屋敷林や生垣が伝統的な^{おもむき}趣をみせています。

湖北台団地内のケヤキ並木

季節の移りかわりを感じさせる緑のトンネル。



我孫子駅南口駅前通り

電線類の地中化による無電柱化が図られ、歩道に植栽が施されています。

公園坂通り

我孫子駅から手賀沼公園へ、安全で歩いて楽しい歩行者空間の確保が必要です。





布佐駅東口駅前通り

歩行者スペースが不十分であり
安全性の確保と地区拠点として
の顔づくりが必要です。

手賀沼ふれあいライン

県道船橋我孫子線との交差点に
広告物などが乱立しており
雑然とした景観となっています。



手賀沼ふれあいライン

背が高く、表示面積が大きい
広告物が本市の特徴である
斜面林の眺望を遮断しています。



手賀沼ふれあいライン

色彩が鮮やかな屋上広告物の
表示面積が大きく、斜面上から
の手賀沼眺望を遮断しています。



ガードレール

安全を確保するためのガード
レールであるが、周辺の自然
環境に調和していない。

< 公共建築物等 >

鳥の博物館

個性的なデザインや色彩が周囲の環境に調和している。



アビスタ

手賀沼の水面と調和した屋根のデザインとタイルの質感が存在感を出しています。

近隣センター（こもれび）

既存樹木や地形を最大限残し、このことが緑豊かな周辺環境との連続性を保ち、既存景観によく溶け込んだ施設を生み出しています。



親水広場

公園と一体となった親水性の高い施設となっています。

湖北集水路

田園地帯の中を流れる集水路。自然の法面がのどかな印象を与えます。



●都市施設などの位置図

